



さわやか入間の風

令和8年

10月発行

発行者 西澤 泰男



『晩夏の秩父路に 50 有余年の絆を練りこませ』

会長 西澤 泰男

大学の合格発表から 57 年間、数学科 13 人の仲間は人生の朋として支え合い磨き合ってきた。今年は 1 泊旅行、3 回目の秩父路であった。しかも 12 年に 1 度の秩父札所 34 ケ寺「午歳総開帳」とも重なり、秘仏の観音様を直接拝観できた。

① 正面に武甲山を配した高原ミューズパークへ

昨年「人・森・川つなげ未来へ 彩の国」をテーマに全国植樹祭が開催され、ご臨席された天皇陛下によりケヤキ、スギ、トチノキの苗木がお手植えされた。主会場の森一帯には、お手植えの苗木や全国招待者が植えた記念樹などが成木になるまで、鹿等の被害から守られ大切に育てられていた。この森は 10 年、20 年経つにつれ、より豊かな表情へ育っていくであろう。



② 開店 10 年目のレストラン『メープルベース』で昼食



10 年前に仲間の娘さんが開店した人気のレストラン。特徴は、自生している楓の樹液を採取したメープルをふんだんに取り入れた料理や、創作の食品である。この日はタイの国民的料理をアレンジしたメープルカオマンガイで、鶏肉を煮込んだチャーハン風の香ばしい料理に舌鼓しながら、当時の思い出に花を咲かせた。

③ 秩父困民党が結集した棕(むく)神社で、秩父事件の真相に迫る

秩父市文化財保護審議委員の引間春一先生(元金子中学校校長先生)を講師に、棕神社そして音楽寺の境内に赴き、困民党軍の足取りを辿りながら、2 時間を超えるお話や現地調査をした。当時生活に困窮した養蚕農民らが借金返済猶予や税の軽減を求め、総勢 1 万人余りが武装蜂起した。高利貸しの家を打ち壊し、秩父神社隣の郡役所を占拠し本陣としたが、新政府の軍隊や警官隊に奪還され、党員は各地に散るも 10 日間で鎮圧された。近代史の中で西南戦争に次ぐ大きな事件であった。その後自由民権運動は政府に抑えこまれ、日本は日清戦争に向かって行った。



④ 翌日は全国 2 番目 156m の地上高を誇る雄大な浦山ダムを見学

その後、札所 28 番橋立堂を訪ね、橋立堂鍾乳洞に入り、昼食は秩父の香りある美味しいそばを味わい、これからの細く長い付き合いを約束し、各々帰路についた。

秩父の森を駆け巡った 6 人の 2 日間の記憶。振り返ると、そこにはいつも急な山道や苔むした石段がそびえていた。正に人生は旅路、遠回りもまた、人生の景色である。

『夏の果て 茶畑わたる 風涼し』 主役は虫の音へと・・・

会員の皆様が四季折々、今の時を大切に大事に歩まれることを願っております。また未来の会員のため、この退職校長会をこれからも共に育てましょう。

『大いに交流！ 会員のページ』



☆老人ホーム事務職として

古川 正斗志

縁あって老人ホームの事務職に就いて早6年。以前は未来を担う子供たちの育成に力を注ぎ、現在は社会を支えてこられた高齢者の皆様に向き合っています。人の一生に触れる仕事に複雑な思いを抱きつつ、敬意と温かさをもって日々を過ごしています。



☆生きる楽しみを探して

齋 藤 悟

定年退職後に、第2の人生でやりたい事を20ほどリストアップして生きる楽しみにすることになりました。具体的には、全国を旅行する中で、日本の世界自然文化遺産巡りをする事です。今年の夏には富士山登頂をすることができました。その他には寺社の御朱印を頂くことや日本名城百選巡りで御城印を収集することです。この事を通して、その地方の歴史や生活文化を学ぶことができ、とても有意義に感じています。これからも健康とうまく折り合いながら第2の人生を楽しんでいきたいと思っています。



☆毎年の楽しみ

中田 一平

学校のサマーフレッシュ(閉庁)期間を利用して、甲子園での高校野球観戦を10年以上続けています。選手もベンチも応援も、すべてを精一杯行う高校生の全力プレーに惹かれて観戦を始めましたが、試合前のノック、グラウンドキーパー、審判員など毎年視点を決めて観戦しています。厳しい暑さの中ですが、心が豊かになる憩いのひと時です。



☆令和8年度 入間市退職校長会 懇親忘年会開催のお知らせ

- 1 期日 令和8年12月5日(土) 11時30分開会 (受付 11時～)
- 2 会場 「魚いち」 電話 04-2962-2628 ※いす席です。
- 3 会費 7000円

※同封の返信用はがきにて参加の有無をお知らせください。

～楽しいひと時にしたいと思います。みなさまの参加をお待ちしております。～